

## 東海地区協会（名古屋大学）

### 1．国立大学関係（8館）

#### （1）東海地区国立大学附属図書館長懇談会

平成18年9月12日（火）名古屋大学附属図書館において開催され、国立大学の図書館組織のあり方、電子ジャーナル導入経費確保の方策や雑誌高騰化に対する各大学の対策等について広く意見交換を行った。

#### （2）東海地区国立大学図書館協会事務連絡会

平成18年11月17日（金）名古屋大学附属図書館において開催され、国立七大学図書館協議会、国公立大学図書館協力委員会、国立大学図書館協会理事会等の報告及び東海地区大学図書館協議会、東海地区図書館協議会の活動等についての報告が行われた。

また、学術機関リポジトリの構築、及びフレッシュ・パーソンセミナーなどについて協議した。

#### （3）東海地区国立大学図書館協会総会

平成19年4月27日（金）静岡大学附属図書館を当番館として開催され、地区協会の会長館の選出に続いて、第54回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項、及び学術機関リポジトリの構築、人件費削減と図書館の事務体制、電子ジャーナル経費の確保等について協議した。

#### （4）学術機関リポジトリ実務担当者会議

平成18年5月11日（木）第1回が名古屋大学附属図書館において開催され、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業及び各大学の学術機関リポジトリ構築の取り組みについて協議した。

また、平成19年2月6日（火）第2回が名古屋大学附属図書館において開催され、三重大学人文学部教授佐藤義則氏の講演「CSI事業における学術機関リポジトリについて」の他、CSI事業の実践報告及び意見交換が行われた。

### 2．国公立大学関係（86館）

#### （1）東海地区大学図書館協議会第60回総会・研究集会

平成18年7月7日（金）名城大学附属図書館において開催され、午前中は平成17年度事業報告、決算報告、平成18年度事業計画案、予算案等について、及び学術情報基盤の今後の在り方、学術機関リポジトリ構築についての協議ならびに永年勤続者の表彰が行われた。

午後は、下記の研究集会が開催された。

テーマ：「知の連携と大学図書館の整備」

基調講演：「書名が与える研究への影響、冬虫夏草とは？」

（名城大学副学長 原 彰氏）

講演：「私立大学における学術情報基盤整備の現状：早稲田大学の事例を中心として」

（早稲田大学図書館総務課長 中元 誠氏）

## (2) 研修会

### 第1回

日 時：平成19年1月12日(金)

場 所：岐阜県図書館

参加者：51機関 70人

テ ー マ：「大学図書館の地域連携」

事例報告1：「相互利用協定と愛知県内図書館のILL 定期便設置実証実験」  
(愛知県図書館資料支援課広域グループ 村上昇平氏)

事例報告2：「静岡県内の大学図書館における連携について」  
(静岡大学附属図書館図書館情報課長 大石博昭氏)

事例報告3：「岐阜県における公共図書館との連携」  
(岐阜大学図書館情報サービス課長 木村晴茂氏)

事例報告4：「東海目録(TOMcat)：病院図書室と大学図書館の連携」  
(愛知医科大学医学情報センター(図書館) 坪内政義氏)

事例報告5：「図書館の教育支援、地域支援：豊田高専の英語多読を通して」  
(豊田工業高等専門学校教授 西澤 一氏)

### 第2回

日 時：平成19年3月7日(水)

場 所：名古屋大学附属図書館

参加者：42機関 90人

テ ー マ：「Web2.0時代の図書館サービス」

基調講演：「Web2.0時代の図書館」  
(Academic Resource Guide 岡本 真氏)

講 演：「図書館利用者の情報探索活動に関する実証的研究」  
(名古屋大学附属図書館研究開発室 寺井 仁氏)

講 演：「Web2.0時代の新たな図書館サービスの展開」  
(農林水産省農林水産研究情報センター 林 賢紀氏)

## 3. 公共図書館との連携

### (1) 東海地区図書館協議会

東海地区4県の公共図書館と大学図書館との連携・協力事業の一環として、81館の参加による資料相互利用を実施している(平成19年3月31日現在)。

以 上